

第9章 感染症・予防接種

(1) 感染症

平時の感染症予防と感染症法に基づく迅速で的確な対応ができるよう各関係機関との連携強化を図った。

平成18年度報告のあった感染症は、2類感染症 細菌性赤痢1件1人、3類感染症 腸管出血性大腸菌感染症15件69人（うち1件は児童福祉施設を中心に患者及び無症状病原体保有者49人の発生）の届け出があった。その他、4類感染症 レジオネラ肺炎5件5人、つつが虫病6件6人、ライム病1件1人の発生届け出があり、情報収集等疫学調査により感染源及び感染経路対策、二次感染予防等の防疫対応を行った。

また、平成17年度から性感染症予防啓発を2年次事業として推進した。

性感染症は、無自覚のうちに性的接触により広がることが多く、近年は若年層を中心に増加傾向にある。感染に気づかぬうちに健康障害を引き起こし、不妊症の原因になるなどの健康問題になっている。このため、学校教育現場と協働して、関係者連絡会議及び研修会の開催、中高生を対象とした性感染症予防講座の実施及び性感染症予防相談、検査の開設、その他アンケート調査及び意見交換を行うことにより、次代を担う若者が必要な注意を払うことができるよう支援した。

関係者連絡会議及び研修会 2回延べ76人出席

学校保健関係者と地域保健の間でのネットワークづくりを望む声が多く、今後も開催したい。

性感染症予防講座 中学校18校、高校5校 計23校3,940人受講

性感染症の実態等、地域の現状の情報提供や統計データなどの学校で活用できる資料は積極的に提示したい。

相談検査の実施 相談検査37人（18年度全県下事業）

相談検査を受けやすい環境整備について検討が必要である。

(2) 予防接種

予防接種は、感染症予防対策を推進する上で、感受性対策として重要であることから、ワクチンに関する正しい知識の普及に努め、被接種者をはじめ関係者の理解を得つつ積極的に推進しているところである。

定期の予防接種率の向上及び予防接種による健康被害の未然防止、予防接種体制の一層の充実を図るため、個別接種医療機関で接種判断の困難な被接種者の対応及び予防接種に関する相談の対応等の機能を持った二次及び三次予防接種医療機関を県内30カ所指定されている。管内市村においては、このうち7カ所を指定し、接種を行っている。

(1) 感染症患者数 (T 9 - 1)

(管内総計)

分類	病名	年度									
		平成 9年	平成 10年	平成 11年	平成 12年	平成 13年	平成 14年	平成 15年	平成 16年	平成 17年	平成 18年
2	コレラ	()	()	()	()	()	()	()	()	1	()
	細菌性赤痢	2 ()	()	(1)	2 (3)	()	24 ()	()	()	()	1 ()
	腸チフス	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
	パラチフス	()	()	()	()	()	1 ()	()	()	()	()
	急性灰白髄炎	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
	ジフテリア	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
3	腸管出血性大腸菌感染症	7 (4)	9 (9)	4 (4)	8 (6)	8 ()	1 ()	10 (50)	6 (3)	5 (2)	25 (44)
4	E型肝炎	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	ウエストナイル熱	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	A型肝炎	/	/	/	/	/	/	/	/	1	/
	エキノコックス症	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	黄熱	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	オウム熱	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	回帰熱	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	Q熱	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	狂犬病	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	高病原性鳥インフルエンザ	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	コクシジオイデス症	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	サル痘	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	腎症候性出血熱	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	炭疽	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	つつがムシ病	6	3	2	17	3		5	5	7	6
	デング熱	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	ニパウイルス感染症	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	日本紅斑熱	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	日本脳炎	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	ハンタウイルス肺症候群	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	Bウイルス症	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	ブルセラ病	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	発しんチフス	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
ポツリヌス症	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
マラリア	/	/	/	/	/	/	/	1	/	/	
野兔病	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
ライム病	/	/	/	/	/	/	/	/	/	1	
リッサウイルス感染症	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
レジオネラ症	/	/	/	/	/	/	/	/	/	5	
レプトスピラ症	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
5	後天性免疫不全症候群	()	()	()	()	1 ()	1 ()	()	()	()	()
	梅毒	()	()	()	()	()	2 ()	1 ()	1 ()	()	()
	アメーバ赤痢	/	/	/	/	/	/	/	1	/	/
	ウイルス性肝炎 (E型及びA型肝炎を除く)	/	/	/	1 ()	/	/	1 ()	/	/	/
	急性脳炎 (ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	クリプトスポリジウム症	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	クロイツフェルト・ヤコブ病	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	ジアルジア症	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	髄膜炎菌性髄膜炎	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	先天性風しん症候群	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	破傷風	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	

- 1 ()内は無症状病原体保有者
- 2 4類感染症は全数報告の疾患のみ
- 3 平成9年～10年の細菌性赤痢にはアメーバ赤痢も含む
- 4 平成11年～14年までのウイルス性肝炎 (E型及びA型を除く) はE型及びA型を含む

(本所小計)

分類	病名	年度										
		平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	
2	コレラ	()	()	()	()	()	()	()	()	()	1	()
	細菌性赤痢	2	()	()	2	()	24	()	()	()	()	1
	腸チフス	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
	パラチフス	()	()	()	()	()	1	()	()	()	()	()
	急性灰白髄炎	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
	ジフテリア	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
3	腸管出血性大腸菌感染症	7	9	3	8	5	1	10	5	4	23	
4	E型肝炎	(4)	(9)	(4)	(6)	()	()	(50)	(3)	(2)	(44)	
	ウエストナイル熱											
	A型肝炎									1		
	エキノコックス症											
	黄熱											
	オウム熱											
	回帰熱											
	Q熱											
	狂犬病											
	高病原性鳥インフルエンザ											
	コクシジオイデス症											
	サル痘											
	腎症候性出血熱											
	炭疽											
	つつがムシ病								1		1	
	デング熱											
	ニパウイルス感染症											
	日本紅斑熱											
	日本脳炎											
	ハンタウイルス肺症候群											
	Bウイルス症											
	ブルセラ病											
	発しんチフス											
	ポツリヌス症											
	マラリア											
	野兔病											
ライム病										1		
リッサウイルス感染症												
レジオネラ症										5		
レプトスピラ症												
5	後天性免疫不全症候群	()	()	()	1	1	()	()	()	()	()	
	梅毒	()	()	()	()	2	1	()	()	()	()	
	アメーバ赤痢									1		
	ウイルス性肝炎(E型及びA型肝炎を除く)				1			1				
	急性脳炎(ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く)											
	クリプトスポリジウム症											
	クロイツフェルト・ヤコブ病											
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症											
	ジアルジア症											
	髄膜炎菌性髄膜炎											
	先天性風しん症候群											
	破傷風											
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症												
バンコマイシン耐性腸球菌感染症												

1 ()内は無症状病原体保有者

2 4類感染症は全数報告の疾患のみ

3 平成9年～10年の細菌性赤痢にはアメーバ赤痢も含む

4 平成11年～14年までのウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)はE型及びA型を含む

(センター小計)

分類	病名	年度										
		平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	
2	コレラ	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
	細菌性赤痢	()	()	(1)	()	()	()	()	()	()	()	
	腸チフス	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
	パラチフス	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
	急性灰白髄炎	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
	ジフテリア	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
3	腸管出血性大腸菌感染症	/	/	1	/	3	/	/	1	1	2	
4	E型肝炎	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	ウエストナイル熱	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	A型肝炎	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	エキノコックス症	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	黄熱	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	オウム熱	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	回帰熱	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	Q熱	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	狂犬病	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	高病原性鳥インフルエンザ	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	コクシジオイデス症	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	サル痘	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	腎症候性出血熱	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	炭疽	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	つつがムシ病	6	3	2	17	3	/	5	4	7	5	
	デング熱	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	ニバウイルス感染症	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	日本紅斑熱	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	日本脳炎	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	ハンタウイルス肺症候群	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	Bウイルス症	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	ブルセラ病	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	発しんチフス	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
ポツリヌス症	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/		
マラリア	/	/	/	/	/	/	/	1	/	/		
野兔病	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/		
ライム病	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/		
リッサウイルス感染症	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/		
レジオネラ症	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/		
レプトスピラ症	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/		
5	後天性免疫不全症候群	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
	梅毒	()	()	()	()	()	()	()	1	()	()	
	アメーバ赤痢	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	ウイルス性肝炎(E型及びA型肝炎を除く)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	急性脳炎(ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	クリプトスポリジウム症	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	ジアルジア症	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	髄膜炎菌性髄膜炎	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	先天性風しん症候群	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	破傷風	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/		

1 ()内は無症状病原体保有者

2 4類感染症は全数報告の疾患のみ

3 平成9年～10年の細菌性赤痢にはアメーバ赤痢も含む

4 平成11年～14年までのウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)はE型及びA型を含む

(2) 感染症患者発生状況 (保菌者を含む) (T 9 - 2)

(平成 1 8 年度)

	病 名	区 分	診定年月日	菌 型	患者性別	年代	住 所	推定感染地域	備 考
1	つつが虫病	患者	H18.5.18		女	児童	高山市	国内	
2	細菌性赤痢	患者	H18.5.31	<i>S. sonnei</i> , D群	女	30代	高山市	東南アジア	
3	腸管出血性大腸菌感染症	患者	H18.6.27	O26, VT1	女	幼児	高山市	国内	
4	腸管出血性大腸菌感染症	患者	H18.7.6	O26, VT1	女	幼児	高山市	国内	
5	腸管出血性大腸菌感染症	無症状病原体保有者	H18.7.10	O26, VT1	女	20代	高山市	国内	
6	レジオネラ症	患者	H18.7.14		女	70代	高山市	国内	
7	腸管出血性大腸菌感染症	患者	H18.7.25	O26, VT1	女	幼児	高山市	国内	
8	腸管出血性大腸菌感染症	患者	H18.7.27	O26, VT1	女	幼児	高山市	国内	
9	腸管出血性大腸菌感染症	患者	H18.7.27	O26, VT1	女	幼児	高山市	国内	
10	腸管出血性大腸菌感染症	無症状病原体保有者	H18.7.28	O26, VT1	女	20代	高山市	国内	
11	腸管出血性大腸菌感染症	無症状病原体保有者	H18.7.28	O26, VT1	女	40代	高山市	国内	
12	腸管出血性大腸菌感染症	患者	H18.7.28	O26, VT1	男	幼児	高山市	国内	
13	腸管出血性大腸菌感染症	患者	H18.7.28	O26, VT1	女	幼児	高山市	国内	
14	腸管出血性大腸菌感染症	無症状病原体保有者	H18.7.28	O26, VT1	女	20代	高山市	国内	
15	腸管出血性大腸菌感染症	無症状病原体保有者	H18.7.29	O26, VT1	女	20代	高山市	国内	
16	腸管出血性大腸菌感染症	患者	H18.7.29	O26, VT1	女	児童	高山市	国内	
17	腸管出血性大腸菌感染症	患者	H18.7.29	O26, VT1	男	幼児	高山市	国内	
18	腸管出血性大腸菌感染症	無症状病原体保有者	H18.7.29	O26, VT1	女	児童	高山市	国内	
19	腸管出血性大腸菌感染症	無症状病原体保有者	H18.7.29	O26, VT1	女	幼児	高山市	国内	
20	腸管出血性大腸菌感染症	無症状病原体保有者	H18.7.29	O26, VT1	女	幼児	高山市	国内	
21	腸管出血性大腸菌感染症	無症状病原体保有者	H18.7.29	O26, VT1	男	幼児	高山市	国内	
22	腸管出血性大腸菌感染症	無症状病原体保有者	H18.7.29	O26, VT1	男	幼児	高山市	国内	
23	腸管出血性大腸菌感染症	無症状病原体保有者	H18.7.29	O26, VT1	女	幼児	高山市	国内	
24	腸管出血性大腸菌感染症	無症状病原体保有者	H18.7.29	O26, VT1	女	幼児	高山市	国内	
25	腸管出血性大腸菌感染症	無症状病原体保有者	H18.7.29	O26, VT1	女	幼児	高山市	国内	
26	腸管出血性大腸菌感染症	無症状病原体保有者	H18.7.29	O26, VT1	女	幼児	高山市	国内	
27	腸管出血性大腸菌感染症	無症状病原体保有者	H18.7.29	O26, VT1	女	幼児	高山市	国内	
28	腸管出血性大腸菌感染症	無症状病原体保有者	H18.7.29	O26, VT1	男	幼児	高山市	国内	
29	腸管出血性大腸菌感染症	無症状病原体保有者	H18.7.30	O26, VT1	男	幼児	高山市	国内	
30	腸管出血性大腸菌感染症	無症状病原体保有者	H18.7.30	O26, VT1	女	幼児	高山市	国内	
31	腸管出血性大腸菌感染症	無症状病原体保有者	H18.7.30	O26, VT1	男	幼児	高山市	国内	
32	腸管出血性大腸菌感染症	無症状病原体保有者	H18.7.30	O26, VT1	男	幼児	高山市	国内	
33	腸管出血性大腸菌感染症	無症状病原体保有者	H18.7.30	O26, VT1	女	幼児	高山市	国内	
34	腸管出血性大腸菌感染症	無症状病原体保有者	H18.7.30	O26, VT1	女	幼児	高山市	国内	
35	腸管出血性大腸菌感染症	無症状病原体保有者	H18.7.30	O26, VT1	女	幼児	高山市	国内	
36	腸管出血性大腸菌感染症	無症状病原体保有者	H18.7.30	O26, VT1	男	幼児	高山市	国内	
37	腸管出血性大腸菌感染症	無症状病原体保有者	H18.7.30	O26, VT1	男	幼児	高山市	国内	
38	腸管出血性大腸菌感染症	無症状病原体保有者	H18.7.30	O26, VT1	女	幼児	高山市	国内	
39	腸管出血性大腸菌感染症	無症状病原体保有者	H18.7.30	O26, VT1	男	幼児	高山市	国内	
40	腸管出血性大腸菌感染症	無症状病原体保有者	H18.7.30	O26, VT1	女	幼児	高山市	国内	
41	腸管出血性大腸菌感染症	無症状病原体保有者	H18.7.30	O26, VT1	女	幼児	高山市	国内	
42	腸管出血性大腸菌感染症	無症状病原体保有者	H18.7.30	O26, VT1	女	幼児	高山市	国内	
43	腸管出血性大腸菌感染症	無症状病原体保有者	H18.7.30	O26, VT1	女	幼児	高山市	国内	
44	腸管出血性大腸菌感染症	無症状病原体保有者	H18.7.30	O26, VT1	男	幼児	高山市	国内	
45	腸管出血性大腸菌感染症	無症状病原体保有者	H18.7.30	O26, VT1	女	幼児	高山市	国内	
46	腸管出血性大腸菌感染症	無症状病原体保有者	H18.7.30	O26, VT1	男	幼児	高山市	国内	
47	腸管出血性大腸菌感染症	無症状病原体保有者	H18.7.30	O26, VT1	女	幼児	高山市	国内	
48	腸管出血性大腸菌感染症	無症状病原体保有者	H18.7.31	O26, VT1	女	30代	高山市	国内	
49	腸管出血性大腸菌感染症	無症状病原体保有者	H18.7.31	O26, VT1	男	幼児	高山市	国内	
50	腸管出血性大腸菌感染症	無症状病原体保有者	H18.8.1	O26, VT1	女	幼児	高山市	国内	

(4) 不明感染症疾患発生状況(保菌者を含む)(T9-4)

(平成18年度)

発生年月日	発生場所又は施設名	発生地区又は施設の人員	患者数	主要症状	判定	備考
-	-	-	-	-	-	-

(5) エイズ相談及び検査実施状況(T9-5)

(平成18年度)

	相談件数		エイズ出前講座		特定感染症検査件数				
	電話	来所	回数	人数	HIVスクリーニング検査	HIV確認検査	クラミジア	HBs	HCV
管内総数	59	42	26	4023	42	-	37	36	36
本所管内	57	42	23	3940	42	-	37	36	36
セツカ-管内	2	-	3	83	-	-	-	-	-

(6) 予防接種

ア ジフテリア・百日咳・破傷風混合(T9-6)

(平成18年度)

	第1期					第2期		
	初回接種			追加接種		対象者数	被接種者数	
	対象者数	被接種者数			対象者数			被接種者数
第1回		第2回	第3回	対象者数		被接種者数		
管内総数	1,626	1,373	1,371	1,335	1,320	1,239	1,804	1,799
本所小計	1,112	1,089	1,090	1,048	1,053	963	1,419	1,396
高山市	794	775	793	778	794	788	1,150	1,128
飛騨市	297	295	277	249	248	164	248	247
白川村	21	19	20	21	11	11	21	21
セツカ-小計	514	284	281	287	267	276	385	403
下呂市	514	284	281	287	267	276	385	403

イ 急性灰白髄炎・風しん・麻しん（Ｔ９ - ７）

（平成１８年度）

	急性灰白髄炎			麻しん又は風しん									
	対象者数	被接種者数		対象者数		麻しん・風しん(混合)		麻しん(単抗原)のみ		風しん(単抗原)のみ		麻しん(単抗原)と風しん(単抗原)	
		第1回	第2回	第1期	第2期	第1期	第2期	第1期	第2期	第1期	第2期	第1期	第2期
管内総数	2,617	1,271	1,333	1,330	1,587	991	1,386	1	10	-	14	22	2
本所小計	2,142	989	1,055	1,044	1,281	765	1,114	1	8	-	14	1	2
高山市	1,895	765	825	810	987	553	840	1	8	-	14	1	2
飛騨市	225	224	213	210	265	188	247	9	-	12	4	-	-
白川村	22	-	17	24	29	24	27	-	1	-	1	-	-
センター小計	475	282	278	286	306	226	272	-	2	-	-	21	-
下呂市	475	282	278	286	306	226	272	-	2	-	-	21	-

*年度をまたがって受ける人や、転入等もあるので、対象者よりも接種者が多くなることもある

ウ 日本脳炎（Ｔ９ - ８）

（平成１８年度）

	第1期					第2期	
	初回接種			追加接種		対象者数	被接種者数
	対象者数	第1回	第2回	対象者数	被接種者数		
管内総数	-	-	-	-	-	-	-
本所小計	-	-	-	-	-	-	-
高山市	-	-	-	-	-	-	-
飛騨市	-	-	-	-	-	-	-
白川村	-	-	-	-	-	-	-
センター小計	-	-	-	-	-	-	-
下呂市	-	-	-	-	-	-	-

エ インフルエンザ (T 9 - 9)

(平成18年度)

	60歳以上65歳未満の者		65歳以上		合 計	
	対象者数	被接種者数	対象者数	被接種者数	対象者数	被接種者数
管内総計	5,922	11	44,232	22,901	50,154	22,912
本所小計	5,900	7	32,586	16,629	38,486	16,636
高山市	5,865	5	23,330	11,351	29,195	11,356
飛騨市	33	1	8,765	5,043	8,798	5,044
白川村	2	1	491	235	493	236
センター小計	22	4	11,646	6,272	11,668	6,276
下呂市	22	4	11,646	6,272	11,668	6,276

(7) 学校保健

ア 集団かぜ発生状況 (総括) (T9-10)

(本所管内)

(平成18年度)

1	発 生 期 間	H19.2.14 ~ H19.3.19
2	休 校 (園) *	1
3	学 年 閉 鎖 校 数 *	21
4	学 級 " *	22
5	患 者 概 数 *	1047
6	欠 席 者 数 *	519
7	流 行 型 *	-

(センター管内)

1	発 生 期 間	H19.1.29 ~ H19.3.22
2	休 校 (園) *	1
3	学 年 閉 鎖 校 数 *	9
4	学 級 " *	16
5	患 者 概 数 *	603
6	欠 席 者 数 *	336
7	流 行 型 *	-

*延べ数で記載

イ 集団かぜ発生状況 (T9-11)

(平成18年度)

No	発 生 年 月 日	発 生 施 設 名	在 籍 者 数	患 者 概 数	内 欠 席 者 数	備 考 [措 置 (学 級 , 学 年)]
	管内総計	3,494	1,650	855	
	本所小計	2,148	1,047	519	
1	H19.2.14	高山市立国府小学校	36	19	6	学級閉鎖3年1組
2	H19.2.14	飛騨市立古川西小学校	27	15	7	学級閉鎖5年1組
3	H19.2.15	高山市立南小学校	86	28	16	学年閉鎖6学年
4	H19.2.15	高山市立松倉中学校	328	193	45	学年閉鎖1.2学年
5	H19.2.19	高山市立北小学校	30	15	12	学級閉鎖1年3組
6	H19.2.19	飛騨市立古川西小学校	38	15	10	学年閉鎖1学年
7	H19.2.20	高山市立北小学校	30	13	11	学級閉鎖1年4組
8	H19.2.20	飛騨市立古川西小学校	55	23	12	学級閉鎖2年2組、5年2組
9	H19.2.20	高山市立日枝中学校	35	16	10	学級閉鎖1年E組
10	H19.2.26	高山市立宮中学校	36	22	13	学年閉鎖1学年
11	H19.2.26	飛騨市立古川西小学校	53	24	13	学級閉鎖2年1組、3年1組
12	H19.2.26	高山市立荘川中学校	33	24	13	学校閉鎖
13	H19.2.26	飛騨市立神岡小学校	109	43	27	学年閉鎖2学年、学級閉鎖4年1組
14	H19.2.27	高山市立秋神小学校	6	4	4	学年閉鎖2学年
15	H19.2.27	高山市立西小学校	37	27	11	学年閉鎖2学年
16	H19.2.27	飛騨市立古川西小学校	25	12	11	学級閉鎖3年2組
17	H19.2.27	高山市立新宮小学校	74	20	16	学年閉鎖4学年
18	H19.2.27	飛騨市立古川小学校	27	16	3	学級閉鎖1年3組
19	H19.2.28	高山市立国府小学校	37	13	7	学級閉鎖3年2組
20	H19.3.1	高山市立清見小学校	34	13	5	学年閉鎖6学年

21	H19.3.1	高山市立新宮小学校	30	7	6	学級閉鎖3年3組
22	H19.3.2	飛騨市立河合中学校	22	15	7	学年閉鎖1.2学年
23	H19.3.5	高山市立清見小学校	114	70	45	学年閉鎖2.4.5.6学年
24	H19.3.5	飛騨市立河合中学校	15	10	4	学年閉鎖3学年
25	H19.3.5	高山市立東小学校	30	19	11	学級閉鎖2年3組
26	H19.3.5	高山市立新宮小学校	62	13	10	学級閉鎖3年2組、6年2組
27	H19.3.5	高山市立山王小学校	136	66	38	学年閉鎖5学年、学級閉鎖2年2組
28	H19.3.5	飛騨市立神岡小学校	106	46	30	学年閉鎖3学年。学級閉鎖1年3組
29	H19.3.5	高山市立江名子小学校	90	28	18	学年閉鎖3学年、学級閉鎖2年2組
30	H19.3.6	飛騨市立古川中学校	65	38	22	学級閉鎖2年2組、5年2組
31	H19.3.6	高山市立国府小学校	36	13	7	学年閉鎖3年1組
32	H19.3.6	飛騨市立宮川中学校	12	8	4	学年閉鎖2学年
33	H19.3.7	高山市立国府小学校	76	23	11	学年閉鎖6学年
34	H19.3.8	高山市立江名子小学校	32	20	7	学級閉鎖2年2組、5年2組
35	H19.3.12	高山市立丹生川小学校	39	21	4	学年閉鎖2, 3, 4, 5, 6学年
36	H19.3.12	高山市立国府小学校	38	26	11	学級閉鎖6年2組
37	H19.3.12	高山市立北陵中学校	21	14	7	学級閉鎖2年2組、5年2組
38	H19.3.13	高山市立国府小学校	37	15	7	学級閉鎖4年1組
39	H19.3.14	高山市立清見中学校	31	26	10	学年閉鎖1学年
40	H19.3.19	高山市立本郷小学校	20	14	8	学年閉鎖4学年
	セクター小計	1,301	577	320	
1	H19.1.29	下呂市立下呂中学校	147	78	29	学年閉鎖2年 学級閉鎖1年C組
2	H19.1.31	下呂市立下呂中学校	33	10	7	学級閉鎖1年B組
3	H19.1.31	下呂市立下呂小学校	67	26	14	学級閉鎖4年2組 5年1組
4	H19.2.1	下呂市立下呂中学校	113	43	21	学年閉鎖2年
5	H19.2.1	下呂市立下呂小学校	34	17	7	学級閉鎖3年1組
6	H19.2.5	下呂市立下呂小学校	33	17	11	学級閉鎖3年2組
7	H19.2.6	下呂市立尾崎小学校	44	22	14	学年閉鎖1年3年
8	H19.2.6	下呂市立金山中学校	29	15	10	学級閉鎖2年1組
9	H19.2.6	下呂市立下呂中学校	65	19	12	学級閉鎖1年A組 3年A組
10	H19.2.13	下呂市立金山中学校	37	14	9	学級閉鎖1年2組
11	H19.2.14	下呂市立竹原中学校	37	5	3	学年閉鎖3年
12	H19.2.14	下呂市立萩原小学校	59	29	14	学級閉鎖4年1組 4年3組
13	H19.2.19	下呂市立萩原小学校	29	17	8	学級閉鎖2年1組
14	H19.2.21	下呂市立萩原小学校	30	15	8	学級閉鎖2年3組
15	H19.2.21	下呂市立金山小学校	12	11	6	学年閉鎖2年
16	H19.2.22	下呂市立萩原小学校	62	23	17	学級閉鎖1年2組 3年3組
17	H19.2.27	下呂市立萩原小学校	62	18	15	学級閉鎖2年2組 3年2組
18	H19.3.1	下呂市立萩原小学校	80	36	20	学年閉鎖6年
19	H19.3.5	下呂市立萩原小学校	28	16	13	学級閉鎖1年1組
20	H19.3.5	下呂市立下呂小学校	24	10	9	学級閉鎖2年3組
21	H19.3.5	下呂市立小坂中学校	39	27	17	学年閉鎖2年
22	H19.3.5	下呂市立宮田小学校	32	10	10	学年閉鎖4年 5年
23	H19.3.12	下呂市立萩原小学校	28	11	7	学級閉鎖4年2組
24	H19.3.14	下呂市立竹原小学校	149	70	32	学年閉鎖1年2年4年5年
25	H19.3.22	下呂市立馬瀬中学校	28	18	7	学校閉鎖

* 備考は閉鎖の種類(学校・学年・学級)を記載

* 1学年1クラスの場合は学年閉鎖とする

ウ その他の発生状況(T 9 - 1 2)

(平成18年度)

No	発生年月日	発生施設名	在籍者数	患者概数	内欠席者数	感染症名	備考
	総数					
1		該当なし					
2							